

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立幸千中学校	校長	藤井 護	生徒指導主事	伊藤 直也
-----	-----------	----	------	--------	-------

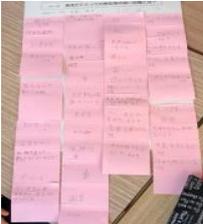
取組事例名 話し合い活動を通して ～『みんなにとって居心地の良い学校とは?』～

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「主体性・協働的」	3	「課題解決能力」	2

取組のねらい

生徒主体の話し合い活動を通して「居心地の良い学校」について考える。また、生徒会執行部と教職員のプロジェクトチームを結成し、会議や研修を行い、次年度に向けた取組を企画する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『生徒主体』
<p>【STEP①】～話し合おう～ 『あなたにとって居心地の良い空間とは?』をテーマに話し合い活動を行う。(1時間)</p>  	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の前にアイスブレイクを行い、お互いが意見を言いやすい環境をつくった。また、「自分や他人の意見を否定しない」などのルールを決めた。 「居心地が良い」とはどのようなことかを、STEP①では自分について、STEP②では集団について、段階を踏んで考えた。 STEP③では、生徒会長がファシリテーターとなり、進行、問題提起、まとめを行った。また、“話し合う”ことの目的についても全体で考えた。 STEP④では、生徒の意見を元に、取組の具体を協議した。
<p>【STEP②】～深めよう～ 『みんなにとって居心地の良い学校とは?』をテーマにし、学級活動や学年活動を通して深める。(2時間)</p>  	
<p>【STEP③】～共有しよう～ STEP②で深めた意見を体育館で交流する。(1時間)</p>  	
<p>【STEP④】～プロジェクト会議～ STEP③で出した意見をもとに、生徒会執行部や職員研修で協議し次年度に向けた取組を企画する。</p>  	

取組の成果と課題

- 生徒アンケートにおいて「毎日安心して学校に来ている」と肯定的に回答した生徒の割合が、85%（2学期末）であった。
- 生徒主体の話し合い活動を行うことで、生徒会執行部の責任感が向上した。他の生徒たちも「自分たちで決める」「自分たちの学校」を意識することができた。
- 生徒の主体的な活動が見られ、その様子を教職員が積極的に交流できた。
- 生徒アンケートにおいて「自分の考えが認められている」と肯定的に回答した生徒の割合が、80%（2学期末）であった。今後は他者との関わりの中でお互いを評価し合い、認め合う場を充実させていく。
- 取組事例(話し合い)を活用した授業実践が不十分である。